

# 秋田市の先人たち

太平地区の灌漑に尽力

## 鎌田孫左衛門

寛政五（一七九三）年生

明治元（一八六八）年没

太平八田字上八田生まれ



## 主な事蹟

荒廃した水源の枯渴を解消するため、太平川から水を引いて灌漑用水をつくることを計画し、測量を開始。文久二（一八六二）年、七十歳に達していたが、私財を投じて起工から二年三カ月後に完成させた。用水路は孫左衛門堰と名付けられた。これにより目長崎から八田、柳田、広面にかけて延長約十キロメートル、三三五ヘクタールに及ぶ広大な荒地が開田された。